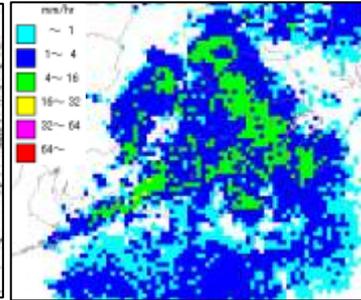
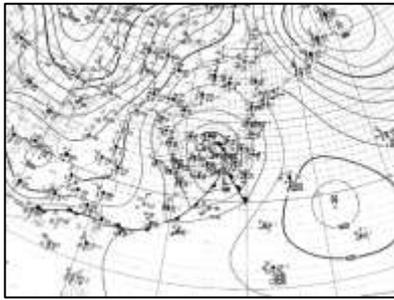


1993年 2月21日～22日 日本海低気圧

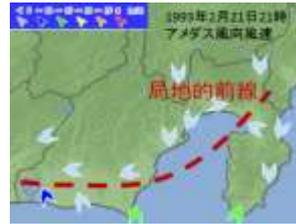
1. 気象経過

21日から22日にかけて前線を伴った低気圧が、対馬海峡から日本海を発達しながら東北東進していた。低気圧は、21日21時には閉塞過程に入り、閉塞点は熊野灘付近にあった。寒候期であることから内陸部は0度以下まで冷え込み、長野県付近に局地的な高気圧が発生し、山間部では、冷たい東から北東の風が吹いていた。一方、閉塞前線の接近により、沿岸部では18時頃から次第に南寄りの暖かい風が吹き始めた。この風がぶつかる中部、西部山沿いに局地的な前線が発生した。この局地的な前線上に南西-北東にのびる線状分布となった雨雲が次々と発生、発達し、閉塞前線が通過するまで停滞したため大雨となった。また、閉塞点近傍が通過していった、伊豆南では一時非常に激しい雨となった。

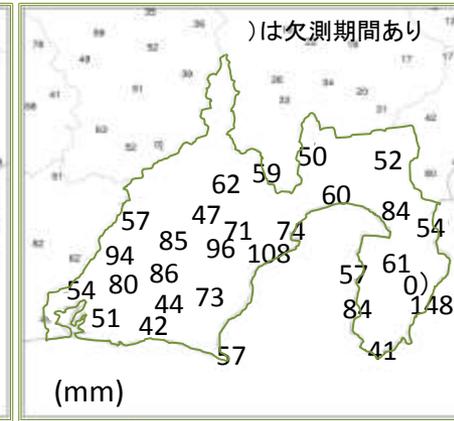
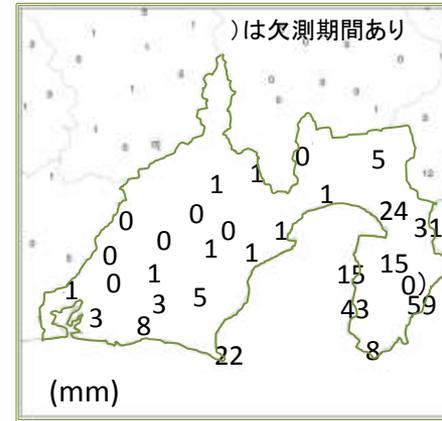
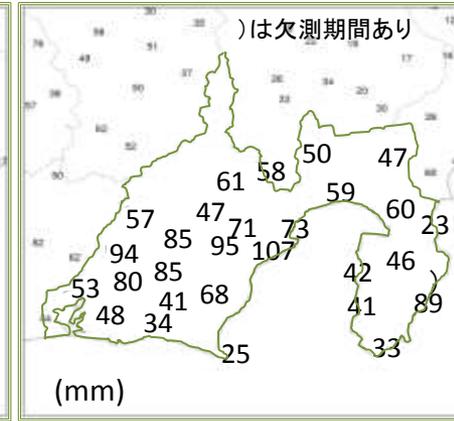


2. 大雨の原因、特徴

日本海低気圧に吹き込む暖かく湿った風と山沿いに発生した局地的な前線の影響で大雨となる典型的なパターン。今回は閉塞前線通過で、暖域の中心は海上にあり、顕著な大雨とはならなかった。それでも、局地的な前線の東端にあたる富士山南東では、長い時間発達した雨雲がかかり続けることにより激しい雨が続いた。



4. アメダス雨量分布図

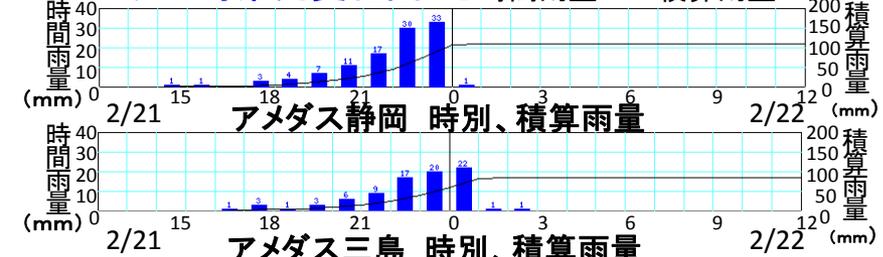


3. 被害概要

	床上 浸水 (棟)	床下 浸水 (棟)	全壊 (棟)	半壊 (棟)	一部 損壊 (棟)	死者 数 (人)	重傷 者 (人)	軽傷 者 (人)	倒壊 物 (件)	道路 閉鎖 (箇所)	橋脚 沈没 (箇所)	河川 決壊 (箇所)	砂防 決壊 (箇所)	鉄道 不通 (箇所)
全国	23	159	0	0	0	0	0	0	0	2	0	5	0	0
中部	2	16	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-
西部	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-
東部	21	143	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-
伊豆	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-

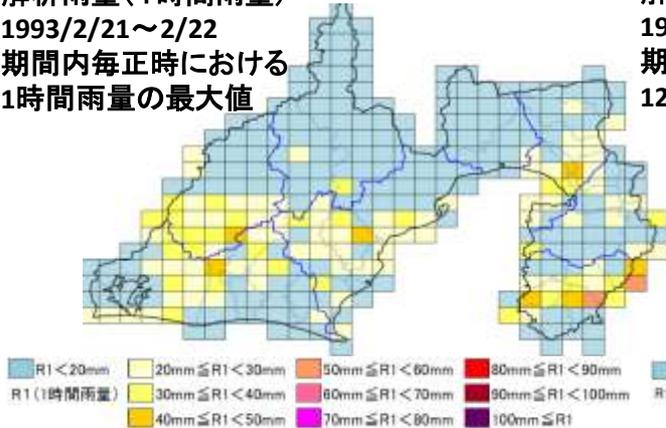
被害数は、静岡県 平成5年における災害の状況による

5. アメダス時系列変化図

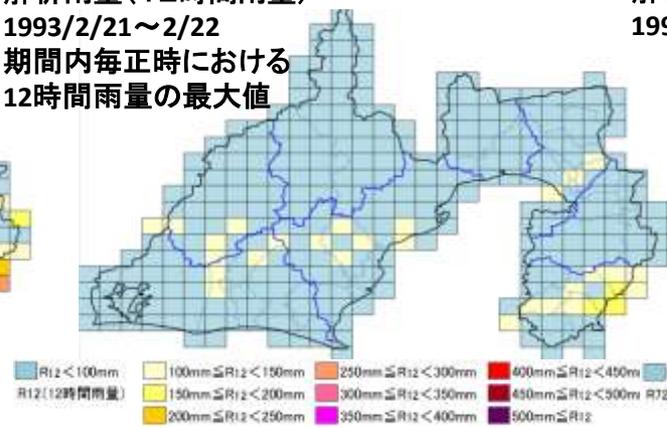


6. 解析雨量分布図

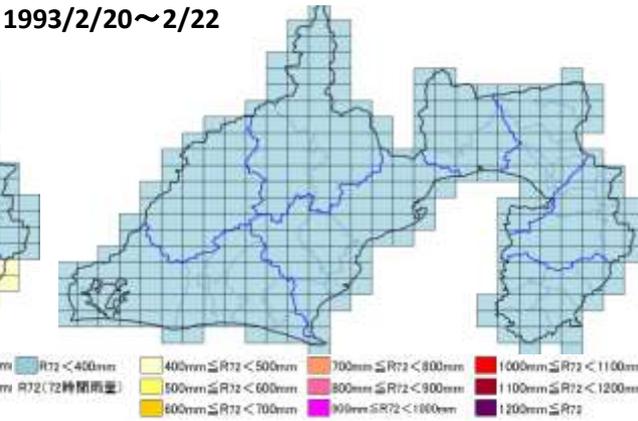
解析雨量(1時間雨量)
1993/2/21~2/22
期間内毎正時における
1時間雨量の最大値



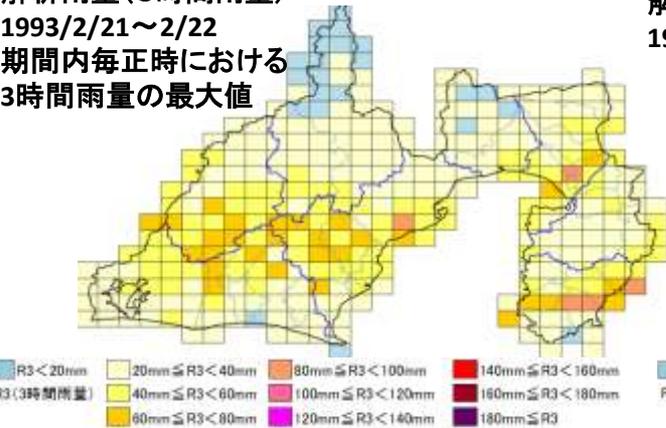
解析雨量(12時間雨量)
1993/2/21~2/22
期間内毎正時における
12時間雨量の最大値



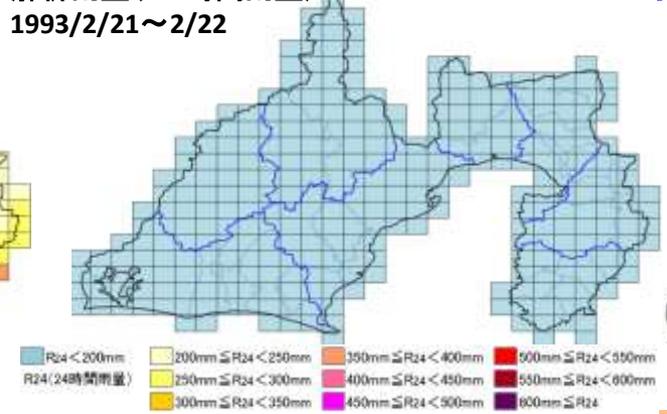
解析雨量(3日間雨量)
1993/2/20~2/22



解析雨量(3時間雨量)
1993/2/21~2/22
期間内毎正時における
3時間雨量の最大値



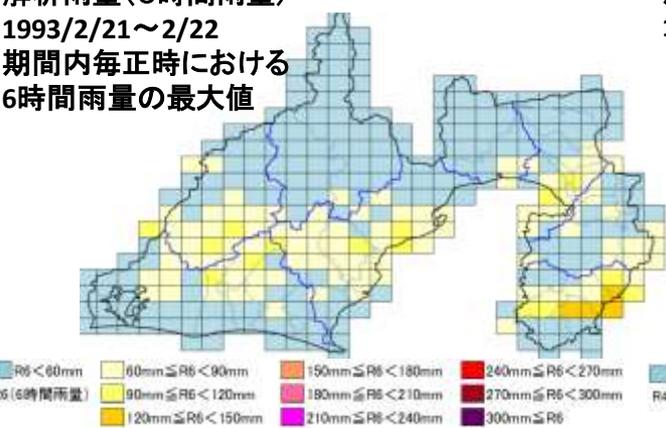
解析雨量(24時間雨量)
1993/2/21~2/22



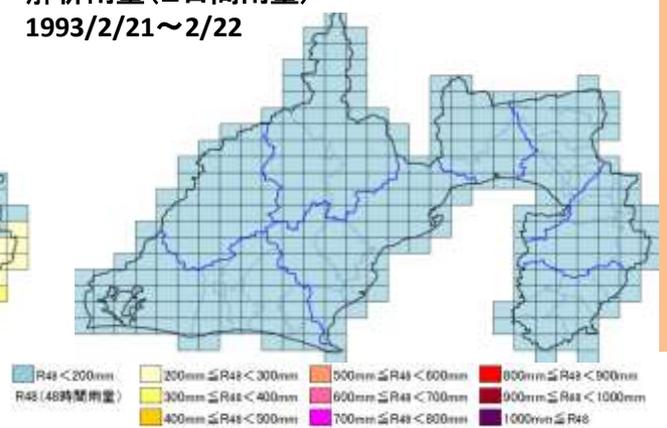
7. 床上、床下浸水被害分布図 (市町毎)



解析雨量(6時間雨量)
1993/2/21~2/22
期間内毎正時における
6時間雨量の最大値



解析雨量(2日間雨量)
1993/2/21~2/22



解析雨量と浸水害分布図からわかる大雨の特徴

1時間雨量分布で見ると、局地的な前線が発生した中部、西部山沿いから東部にかけて、東西に分布した強雨域があり、3時間雨量でも多くなっていることから、同じ地域で発達した雨雲がかかり続けた事がわかる。